

## 経 歴

1963 年 8 月 生まれ、血液型O型、金星人 (-)  
1982 年 3 月 愛知県立稲沢東高等学校卒業  
1984 年 3 月 専門学校デンタル学院歯科技工士科卒業  
1984 年 4 月 名古屋市の Sun Dental Laboratory 入社  
1985 年 3 月 東海歯科医療専門学校専攻科卒業  
1985 年 4 月 東海歯科医療専門学校非常勤講師  
1987 年 9 月 渡欧 (スイス) し Busch Dental ( チュリッヒ・ベルン・トゥーンの 3 都市のラボ ) 入社  
1988 年 11 月 第二回国際歯科技工士学術世界大会テクニカルコンテストにて銀賞受賞  
1989 年 1 月 Buch Dental Ag Bern テクニカルチーフ就任 ( ベルン州にある、スタッフ 16 人のラボ )  
1992 年 11 月 帰国後、(株) カスプデンタルサプライ入社 ( 現在のノリタケデンタルサプライ )  
1993 年 2 月 渡米し Cusp Dental Reseach.Inc ( ニュヨーク州マンハッタン ) 3 ヶ月滞在派遣  
1993 年 5 月 帰国後、Cusp Dental 岐阜営業所として Dental Labor EDEL (エーデル) 開設 (所長就任)  
1993 年 10 月 Noritake Porcelain 海外インストラクター  
1996 年 11 月 Dental Labor SEELE (セーレ) 設立 (愛知県一宮市)【SEELE ⇒独語で魂】  
1998 年 1 月 SJCD (Society of JAPAN CLINICAL DENTISTRY) 会員  
2006 年 1 月 SEELE 移転 (愛知県稲沢市)  
2008 年 4 月 早稲田大学 人間科学部 (通信教育課程) 人間情報科学科 入学  
2010 年 4 月 色彩認知 齋藤理事 (前人間科学部学部長) Saito.Labo 所属  
2012 年 3 月 早稲田大学 人間科学部 卒業  
2012 年 4 月 日本大学 経済学部経済学科 (通信教育課程) 編入学  
2013 年 3 月 胸椎圧迫骨折(Th 5 / 8 / 10) 破裂骨折(Th 9)【脊椎インプラント (Pedicule Screw) 14 本刺入&固定 (Rod fixation : Th 5~12)】

## 免許・資格・賞

1982 年 3 月 普通自動車免許  
1984 年 3 月 専門学校デンタル学院理事長賞・校長賞・皆勤賞  
1984 年 3 月 愛知県知事賞  
1984 年 3 月 歯科技工士免許  
1988 年 11 月 世界大会 銀賞受賞 (10 年に 1 度の世界技術コンテスト)  
1997 年 6 月 二級小型船舶操縦士  
2012 年 3 月 高等学校一種教諭免許 (情報)  
2012 年 9 月 愛知県警察署 (15 年間無事故無違反)  
2013 年 12 月 フォークリフト運転技能講習修了 (最大荷重 1t 以上 ∞) & 玉掛け技能講習修了 (制限荷重 1t 以上 ∞)  
2014 年 1 月 大型一種運転免許 (車両総重量 11t 以上 ∞ & 乗車定員 30 人以上 ∞)  
2014 年 1 月 小型移動クレーン技能講習修了 (最大荷重 5t 未満)  
2014 年 3 月 乙種第 4 類危険物取扱者 免状  
2014 年 9 月 第二種電気工事士 免状  
2014 年 10 月 運行管理者資格者 免状 (貨物)  
2014 年 11 月 高等学校一種教諭免許 (公民)

## 主な講演・発表

1988 年 6 月 17, der Arbeitsgemeinschaft Dentale Technologie ( ドイツ )【メタルフリーレステーション】  
1993 年 10 月 第 14 回日本口腔インプラント学会中部支部総会 (朝日大学)【インプラント上部構造体について】  
1994 年 4 月 3rd World Congress for Oral Implantology (パシフィコ横浜)【A study of the Implant Superstructure】  
1999 年 9 月 SJCD 合同例会 (愛知芸術文化センター)【演題: 適合へのこだわり】  
2012 年 5 月 日本色彩学会第 43 回学会全国大会 (京都大学)【演題: 歯科領域における面積効果に関する検討】  
etc

## 主な発表文献

1986 年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 遊離端欠損におけるインプラント上部構造体の製作 ～部分床養歯への移行とエメントによる浮き上がりを考慮した作成法～ 歯科技工、VOL.14 NO.6:673~686  
1986 年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: エメントによる内外冠の浮き上がりどのように防止するか 歯科技工、VOL.14 NO.6:687~693  
1986 年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 遊離端欠損インプラント上部構造体において部分床養歯への移行をどのように防止するか 歯科技工、VOL.14 NO.6:694~701  
1986 年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 下顎総養歯の維持力増強装置をどのように作るか ～I.T.I 中空シリカ・インプラント支台の場合～ 歯科技工、VOL.14 NO.6:702~709  
1988 年 『技工室における近接撮影テクニック (上)』～カメラレンズとフラッシュについて～ 歯科技工、VOL.16 NO.5:551~558  
1988 年 『技工室における近接撮影テクニック (下)』～MINOLTA α-9000 を中心とした接写テクニック～ 歯科技工、VOL.16 NO.6:721~732  
1988 年 『OPTEC システムのオルセリックス補綴物の製作』～耐火模型材を備えた作業用模型の製作およびボトム・ベイクテクニック～ 歯科技工、VOL.16 NO.10:1079~1092  
1988 年 『OPTEC システムのオルセリックスインレ・アンレへの応用』～製作時の注意点. 製作技法およびその問題点～ 歯科技工、VOL.16 NO.11:1215~1226  
1989 年 『リジッドサポートの有床養歯への移行と審美性を考慮したトータルセラメタルレステーション』 歯科技工、VOL.17 NO.3:  
1989 年 『ハイブリッドフィラ型光重合レジン・インレ修復テクニック』 Quintessence of Dental Technology . VOL.14/1989 : September 1183~1190  
1990 年 『"Box-Geschiebe" とビロック. ボンディングテクニックを用いたコンベネーション養歯の製作 "SPACER-TECHNIK"』 歯科技工、VOL.18 NO.1:61~73  
1991 年 『NEW Impiant system "Ha-Ti Impiant"』～その概要と特徴そして術式～ 歯科技工、19 NO.7:747~759  
1992 年 『ボーン・アンカド・フルブリッジ補綴の現状と可能性 (I)』～上部構造のあり方～ Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : September 1103~1115  
1992 年 『ボーン・アンカド・フルブリッジ補綴の現状と可能性 (II)』～I.G.B テクニックによる上部構造の製作～ Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : October 1229~1243  
1992 年 『Masterpiece: I.G.B Technique による金属燃付ボーン・レジン・コア・デンチャー』 Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : December  
2012 年 『歯科領域における面積効果に関する検討』日本色彩学会誌 36 号 2012.05.01 P116-117  
etc